

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

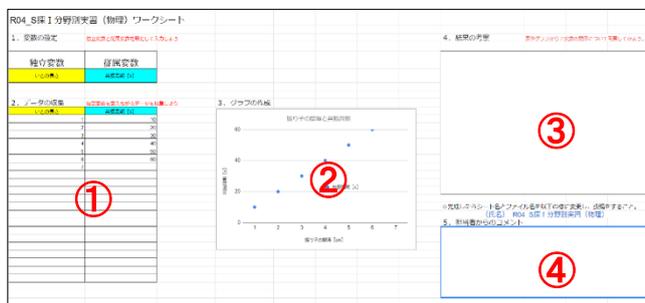
学校名	岡山県立津山高等学校		
実践者等	戸田 祥太	実践日	令和4年10月4日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)	理科・物理(学校設定科目名:サイエンス探究I) (実験)		
対象生徒(学年等)	理数科1年生41名		
育成を目指す資質・能力	<input type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化	
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用	
<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化			
<input type="checkbox"/> その他( )			
家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		

実践の内容

【授業】

実験の中で、生徒の考察の時間を十分に設けることを目的として、スプレッドシートを活用することでのグラフ作成にかかる時間の短縮を図った。

- (1) 本時の実験内容を確認する。
- (2) 班毎に実験を行う。(1班4名)
- (3) 予め教師が用意したスプレッドシートの①の表へ測定データを入力する。(測定データを入力したら、②のグラフへ自動的に点がプロットされてグラフができる仕組みになっている)。
- (4) グラフの特性から考察を行う。
- (5) 考察内容を③の箇所へ入力し提出する



【本時後】

提出されたスプレッドシートに対して、④の箇所へ教師がコメントしたものを生徒へ返却する。返却されたスプレッドシートに書かれてある教師からのコメントを確認し、振り返りを行う。